

5月29日(月)

別れと忠義

聖書朗読 創世記 2：18～25

それゆえ男はその父母を離れ、妻と結び合い、ふたりは一体となるのである。

創世記 2：24

確かマーシャル・キーブルだったと思いますが、彼は「良い結婚の為には、多くの別れがあり、また忠義が伴うものだ」と言っています。これは創世記2：24に記されていることだと思いますが、素晴らしい結婚生活に向けた、何か良い公式が他に生み出されてきたでしょうか。

「多くの別れ」。これは、イサクと結婚するため従者らとともにカナンに向かったリベカの歩みに見られるものではないでしょうか。また、ミデヤンの父の家を離れ、モーセとともに神の民を奴隷から解放するためエジプトへ向かったチッポラにも当てはまるものでしょう。「別れ」とは、相手を拒絶して離れ去ることではありません。結婚していても独身であっても、両親は敬うべきものです。けれども、神に従うことを決めた結婚生活においては、その夫あるいは妻を、両親、兄弟、自分の子どもたち、友人など他の誰よりも第一にすることとされています。

「多くの忠義」。これは、ホセアに見られます。彼は、忠義に値しないようなその妻ゴメルに、忠義を尽くしました。「忠義を尽くすこと」。それは夫あるいは妻を支え、自分よりも夫あるいは妻にとって益となる事を求め、たとえ、夫あるいは妻に、打ちのめされ傷つけられるようなことがあっても、赦すことです。「別れ」と「忠義」。これらは容易なことではないでしょうけれど、良好な結婚生活の為には求められるものなのです

讃美歌 430

祈り お父様。結婚という恵み、そして、結婚生活に私たちを備えさせてくださった事を感謝します。夫あるいは妻とあなた様にお従いするという決意をもって結婚に臨んだ夫婦たちに、恵みをお与えください。

イエス様のお名前によって祈ります。アーメン。

ポール・ワトソン

ノースカロライナ州 ダラム

今日の力

2017年5月29日～6月4日

翻訳 藤岡伸子

鈴木慈久

編集 岩田欣三

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

5月30日（火）

不 可 能 は な い

聖書朗読 創世記 18：1～15

そこで主がアブラハムに仰せられた。「サラはなぜ、『私はほんとうに子を産めるだろうか。こんなに年をとっているのに』と言って笑うのか。」

創世記 18：13

私は、夫が学業を終えようとする頃、大学で働いていたのですが、その職場の同僚はほとんど皆私より年上で、彼らよりずっと若く経験もない私は、そこでの仕事は私にはふさわしくないのではないかと思ったものです。

その次に就いたのは病院での仕事でしたが、そこでも、医療用語など何も知らない私は、その仕事にはふさわしくないと感じました。そして今は、子どもや孫世代の人たちと一緒に働いていますが、今度は、経験はありますが、彼らのエネルギーとスタミナが羨ましく思えるようになりました。

神がサラに、彼女の年齢で子を産むとおっしゃったとき、彼女は笑いました。けれども、彼女は、年を重ねた多くの女性と同じように、視力や聴力の衰え、様々な痛みなど、例を挙げたらきりがありませんが、様々な限界を実感していたのではないのでしょうか。そんな彼女に、神は、子を産み育てることができるとおっしゃったのです。サラは、自分がふさわしくないどころか、あり得ないと思ったに違いありません。

けれども、神はサラにこう答えられます。「主に不可能なことがあろうか」。これは私たちがまさに命綱と呼ぶものではないのでしょうか。サラはその後、みことばのとおり子を産みました。私たちはいくつになっても、神がともにいてくだされば、何も不可能なことはないのです。

讃美歌 77

祈 り 偉大にして善なるお方である万物の主よ。あなた様のお働きに、私たちを用いてくださるということを信ずる信仰をお与えください。

イエス様のお名前によって。アーメン。

マデリン・ピーターソン

ネブラスカ州 ヘイスティングス

5月31日（水）

神 聖 さ

聖書朗読 出エジプト 19：16～25

『山の回りに境を設け、それを聖なる地とせよ。』 出エジプト 19：23

神はモーセに、「あなたの足のくつを脱げ。あなたの立っている場所は、聖なる地である」と仰せられました。神がシナイ山に降りて来られるとき、イスラエルの民はその山に触れることを禁じられていました。また、至聖所は最も神聖な場所であり、年に一度大祭司だけが入ることを赦されていました。イスラエルの民にとって、そこは地上で最も神聖な場所であり、神のご臨在に彼らの思いを向ける場でありました。キリスト教では、そのような場所はないように思われます。勿論、歴史的な出来事が起きた場所（エルサレムの各所など）あるいは個人的な経験の場（最も真剣に祈る為の場など）という点では、クリスチャンにも特別な場所はあるかもしれません。けれども、特定の「神聖な物理的な場所」というのではないでしょう。

聖書が「神聖な場所」を特に定めていないのは、クリスチャンがあらゆる場所や時を神聖なものとして捉える為なのではないのでしょうか。すべては神から来ているのです。主が地上に降りて来られてから、地上の捉え方も旧約時代と異なり、人も、新しい命を与えられ清くされたのです。このような私の捉え方が間違っていなければ、生きている私たちはすべて、命をお与えくださった神に対し、更なる畏敬の念を持って生きることが求められているのではないのでしょうか。さらに、清い歩みをすることも求められており、それにより、「神聖な場所」は、私たちの魂のうちにあるものとなるのだと思います。

讃美歌 341

祈 り 主よ。私たちの心を清め、私たちの内に義なる霊を新たに備えてください。イエス様のお名前によって。アーメン。

トニー・アシュ

テキサス州 アビリン

家を清く保つ

祭司が入って来て調べて、もしその家が塗り直されて後、その患部が家に広がっていないなら、祭司は、その家はきよいと宣言する。なぜなら、その患部が直ったからである。

レビ記 14:48

ユダヤの家では、汚れた石やモルタルは取り除かなければならなかったとあるように、私たちも、家を汚す悪魔は追い払わなければなりません。愛情のない親、一貫しない信仰、富への欲望、仲間内で決めた信仰の規範、この世の影響に抵抗しない姿勢、聖書の学びをほとんどせず、家族の祈りもほとんどしないといったことなどはみな、私たちを汚れた道へと少しずつ導くものです。聖書にあるように、私たちには、神聖なものに触れることによって、自らの家を形作っていく責任があるのです。

オクラホマ州 エドモンド

主 の 名 を 着 る

ヤコブ 3 : 10

テキサス州 アビリン

6月3日（土）

教 え を 読 む

聖書朗読 申命記 6：4～12

わたしが彼のために、多くのおしえを書いても、彼らはこれを他国人のもののようにみなす。 ホセア 8：12

私は子どもの頃母に「おかしいと思ったら、説明書を読みなさい」とよく言われたものです。私はこの助言を忘れずにおり、子どもたちにも受け継いでいます。申命記に記された教えは、単なる想像力によって書かれたものではありません。実際に、神は、民のためになされた事を彼らが覚えていることを望んでおられ、その民が、神ご自身、すなわち、聖なるお方のことを知り、絶えず主を彼らの思いと心に留めていることを望んでおられ、彼らがそのためにどうすべきかを教えておられます。

けれども、民は神の教えに耳を傾けず、自らの道を行き、自分たちの思い通りに振舞い、彼らを造られた神、彼らを愛しておられる神のことを忘れ、神を礼拝する代わりに、人の手による偶像を拝むようになったのです。

私たちは、庭に金の子牛は置いていないでしょうけれど、崇拝している対象は何でしょう。私たちの心を動かすもの、私たちが心を向けているものは何でしょう。何を信頼し、何に幸せを感じているでしょう。聖書に記された神の教えに従おうとするなら、私たちは、人や物、様々な事象その他何であっても、心の内にある神のおられる場所をそれらに奪われることがあってはならないと思います。

讃美歌 247

祈 り 天のお父様。私の思いは、好ましくない物に向くことが多く、周囲の人や様々な事象や人生で起こる様々な出来事によって、思いが乱されてしまいます。どうか、日々あなた様に思いを向け、何が起きてもあなた様はともにいてくださるということを覚えていることが出来るよう助けてください。イエス様のお名前によって。アーメン。

クリスティン・アダムズ
ニューメキシコ州 ホブス

6月4日（日）

ラハブ ～ ありそうもない助け

聖書朗読 ヨシュア 2:12～22, 6:25

信仰によって、遊女ラハブは、偵察に来た人たちを穏やかに受け入れたので、不従順な人たちと一緒に滅びることを免れました。 ヘブル 11:31

彼女は、神様によって備えられた使命に加わるためのちょうど良い場所と時間に行きました。不運にも、彼女は外国人であり、異教徒であり、遊女であったと言う人もいるでしょう。しかしラハブはその地域の情報を知ることのできる場所にいて、イスラエル人が紅海で救われたこと、彼らが周辺の国々を倒したこと、そして間違いなく、彼らが最近奇跡によって割れたヨルダン川を渡ったことを聞いていたのです。

彼女の成長していく信仰を通じて、ラハブはこれらの出来事が、神様がヘブル人とともにいる証拠であると理解しました。彼女は真実で強い感覚によって、それが真の神様であり、彼女がこれまで信じるように教えられてきた神々とは違うことを感じ取りました。信仰へと向かわない心は、ラハブの幼い信仰を確固としたまさにその出来事を軽んじたり、言い逃れしたりしてしまうかもしれません。

異邦人で遊女という過去にもかかわらず、ラハブは信仰と、すべてをかける勇気を持ってイスラエル人と彼らの神に味方しました。彼女の信仰は非常に神様を喜ばせたので、彼女は新約聖書で私たちの模範として取り上げられました。彼女の信じる心は神様の恵みによって、ダビデ王と、さらに究極的にはキリストの家系に加えられるように選ばれたのです。

讃美歌 第二編 188

祈 り 恵みと愛の神様。私たちをあなたのご計画に加えてくださったことを感じます。今日、私たちがあなたの御心を行うことができるように、私たちの信仰と勇気を成長させてください。

イエス様の御名によって。アーメン。

ビバリー・H・ローグ
カリフォルニア州 マーセッド